



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月28日

上場会社名 コクヨ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7984 URL <https://www.kokuyo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 黒田 英邦  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員理財本部長 (氏名) 本田 仁志 TEL 06-6976-1221 (代表)  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	251,549	1.1	17,510	△11.0	19,197	△11.4	16,374	10.1
2023年12月期第3四半期	248,813	10.6	19,677	31.5	21,667	23.4	14,874	14.0

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 16,369百万円 (△22.6%) 2023年12月期第3四半期 21,155百万円 (33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	144.38	—
2023年12月期第3四半期	128.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	344,091	263,229	75.5	2,293.74
2023年12月期	358,412	253,426	70.3	2,209.32

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 259,914百万円 2023年12月期 251,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	32.50	—	34.00	66.50
2024年12月期	—	38.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	338,000	2.8	21,500	△9.8	23,500	△9.6	21,400	12.2	187.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 (社名) オリジン株式会社、株式会社エステイツク、コクヨIKタイランドCo., Ltd.、コクヨインターナショナル(タイランド)Co., Ltd.

除外 -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 12「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	121,542,463株	2023年12月期	121,542,463株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	8,227,751株	2023年12月期	7,552,105株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	113,411,264株	2023年12月期3Q	115,387,489株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(収益認識関係) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	増減率 (%)
売上高	248,813	251,549	+1.1
営業利益	19,677	17,510	△11.0
経常利益	21,667	19,197	△11.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,874	16,374	+10.1

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境等の改善により、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国経済の先行き懸念等による海外景気の下振れや、資源価格及び原材料価格高騰等の影響により、先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、「長期ビジョンCCC2030」実現に向けて、既存事業のブラッシュアップと領域拡大による成長を目指す第3次中期経営計画「Field Expansion 2024」において、既存事業からのリソース再配分や戦略経費支出の積極化、海外展開の強化といった事業領域の拡大に向けた取り組みを推進しております。

当社グループを取り巻く経営環境は激変しておりますが、事業環境や顧客ニーズの変化に柔軟に対応することで、引き続き強い競争力を発揮できているものと考えております。

売上高は、ファニチャー事業においてオフィス移転案件やリニューアル案件の獲得が進捗したことで、前年同期比1.1%増の2,515億円となりました。売上総利益は、原材料価格の高騰影響を受けたものの、売価改定の浸透等の取り組みにより、前年同期比3.1%増の997億円、売上総利益率は、前年同期比0.8ポイント上昇の39.6%となりました。事業領域拡大のために積極的な戦略経費支出等を行った結果、販売費及び一般管理費は、前年同期比6.7%増の822億円、売上高販管費率は、前年同期比1.7ポイント上昇の32.7%となりました。

以上により、営業利益は、前年同期比11.0%減少の175億円となりました。経常利益は、前年同期比11.4%減の191億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産の売却等により、前年同期比10.1%増の163億円となりました。

### セグメント別の状況

当社グループは、「長期ビジョンCCC2030」の実現に向けて、自らの社会における役割を「WORK & LIFE STYLE Company」と再定義し、「働く」「学ぶ・暮らす」のドメインで、文具や家具だけにとらわれない豊かな生き方を創造する企業となることを目指しております。

ワークスタイル領域では、新型コロナウイルス感染拡大によって定着した働く場の分散と働き方の多様化により定着したハイブリッドワークにおける新しいニーズに着目しております。

ライフスタイル領域では、学びや生活の道具におけるライフスタイルツールにおいて、より自分らしく生きることへのこだわりのニーズの高まりに着目しております。

2024年12月期第3四半期のセグメント別業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

		2023年12月期 第3四半期	2024年12月期 第3四半期	増減率 (%)
ワークスタイル領域	売上高	190,906	193,116	+1.2
	営業利益	20,772	20,389	△1.8
ファニチャー事業	売上高	117,464	118,502	+0.9
	営業利益	17,872	16,918	△5.3
ビジネスサプライ流通事業	売上高	73,442	74,614	+1.6
	営業利益	2,900	3,470	+19.7
ライフスタイル領域	売上高	78,934	79,236	+0.4
	営業利益	5,827	5,499	△5.6
ステーションナリー事業	売上高	63,968	63,625	△0.5
	営業利益	5,322	5,102	△4.1
インテリアリテール事業	売上高	14,966	15,611	+4.3
	営業利益	504	397	△21.3
その他	売上高	306	304	△0.7
	営業利益	△193	△373	—
調整額	売上高	△21,335	△21,108	—
	営業利益	△6,728	△8,005	—
合計	売上高	248,813	251,549	+1.1
	営業利益	19,677	17,510	△11.0

(ワークスタイル領域)

・ファニチャー事業

ファニチャー事業は、働き方の変化に伴う旺盛なオフィス需要の獲得と、Kokuyo Hong Kong Limited(以下、コクヨ香港)を活用した 海外事業の成長により、コクヨ全社の業績を牽引することを目指しております。

日本では、新築オフィス移転需要とオフィスリニューアル需要が旺盛な状況が続いており、顧客の戦略課題に対応したワークスタイル提案の強化及び業務プロセスの効率化等に取り組むことで、業績拡大や収益改善が進捗しております。

中国・アセアンでは、コクヨ香港を中心とした生産改善や販売活動の強化に取り組んでおりますが、中国経済の悪化による影響を受けております。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比0.9%増の1,185億円となりました。営業利益は、前年同期比5.3%減の169億円となりました。

・ビジネスサプライ流通事業

ビジネスサプライ流通事業は、カウネットと卸の機能統合による事業効率化を推進するほか、EC化をさらに加速することで顧客体験価値向上による事業拡大を目指してまいります。

当第3四半期は、売価改定の浸透等により収益性が改善したほか、大規模顧客向けソリューションシステムが好調に推移しております。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比1.6%増の746億円となりました。営業利益は、前年同期比19.7%増の34億円となりました。

(ライフスタイル領域)

・ステーションナリー事業

ステーションナリー事業は、SNSなどを通じた自己表現ニーズの高まりにより付加価値文具市場が拡大する中で、本格的なグローバル展開を見据えた体制変革を実施し、グローバル成長による増収増益を目指してまいります。

日本では、売価改定の浸透や事業リソースの最適化等により収益性の改善が進むほか、ECの拡大が進捗しております。

中国では、女子中高生をターゲットとした女子文具需要は引き続き旺盛に推移する中、店舗開拓の推進を進めておりますが、中国経済の悪化による影響を受けております。

インドでは、営業生産性の向上や主力商品の供給力拡大、付加価値商品の投入に取り組んでおりますが、インド経済におけるインフレ進行や競争激化による影響を受けております。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比0.5%減の636億円となりました。営業利益は、前年同期比4.1%減の51億円となりました。

・インテリアリテール事業

インテリアリテール事業のアクタスは、住空間への新たなニーズを取り込むために、店舗とECを統合したマーケティング戦略に取り組んでまいります。

当第3四半期は、円安の進行等により収益性は低下しましたが、販売促進活動が奏功したほかEC事業が順調に推移したことにより増収となりました。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比4.3%増の156億円となりました。営業利益は、前年同期比21.3%減の3億円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,440億円となり、前連結会計年度末に比べ143億円減少しました。

流動資産は2,171億円となり、前連結会計年度末に比べ130億円減少しました。主な要因として、受取手形、売掛金及び契約資産が97億円、現金及び預金が15億円、商品及び製品が12億円、それぞれ減少したためであります。

固定資産は1,269億円となり、前連結会計年度末に比べ12億円減少しました。主な要因として、有形固定資産が4億円、退職給付に係る資産が2億円、それぞれ増加した一方、投資有価証券が24億円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は808億円となり、前連結会計年度末に比べ241億円減少しました。主な要因として、賞与引当金が21億円増加した一方、支払手形及び買掛金が161億円、1年内返済予定の長期借入金が48億円、未払法人税等が26億円、それぞれ減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,632億円となり、前連結会計年度末に比べ98億円増加しました。主な要因として、利益剰余金が99億円、非支配株主持分が17億円、それぞれ増加した一方、自己株式の増加により16億円減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は1,138億円であり、前連結会計年度末に比べ13億円の資金減となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は95億円（前年同期比181億円の収入減）となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益を242億円計上したこと、売上債権の減少109億円、減価償却費58億円等の非資金損益の調整、賞与引当金の増加20億円等による資金の増加があった一方、仕入債務の減少167億円、法人税等の支払額103億円、固定資産売却益48億円の資金の減少等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動により獲得した資金は7億円（前年同期は33億円の支出）となりました。これは、主として有形固定資産の売却による収入55億円、投資有価証券の売却及び償還による収入8億円の資金収入等があった一方、設備投資による支出50億円の資金支出等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は146億円（前年同期比39億円の支出増）となりました。これは、主として自己株式取得のための預託金の減少16億円の資金収入等があった一方、配当金の支払額82億円、長期借入金の返済51億円、自己株式の取得による支出16億円、リース債務の返済による支出10億円の資金支出等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年第3四半期累計実績が対前年で増収営業減益となった状況に鑑み、2024年2月13日に発表致しました2024年12月期の連結業績予想数値について改めて精査を行い、第4四半期において挽回することが困難になったと判断し、当初予想数値の下方修正を実施致します。

主に、中国の市況悪化に伴って、ファニチャー事業における案件の減少、縮小及び後ろ倒しが発生した他、ステーションナリー事業において付加価値消費財に対する需要減退の影響を受けたことによるものです。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、政策保有株式の売却等によって当初予想数値の修正は行いません。期末配当予想につきましても、期初予想通り1株当たり38円00銭を実施予定です。

連結業績予想数値 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績 2023年通期
売上高	355,000	338,000	△17,000	△4.8	328,753
営業利益	24,500	21,500	△3,000	△12.2	23,830
経常利益	25,500	23,500	△2,000	△7.8	25,989
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,400	21,400	—	—	19,069
1株当たり 当期純利益	187円74銭	187円74銭	—	—	165円60銭

セグメント別業績予想数値 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績 2023年通期
ワークスタイル領域	売上高	271,800	261,500	△10,300	△3.8	252,293
	営業利益	28,600	27,300	△1,300	△4.5	26,351
ファニチャー事業	売上高	168,100	161,800	△6,300	△3.7	154,472
	営業利益	24,200	22,700	△1,500	△6.2	22,458
ビジネスサプライ流通事業	売上高	103,700	99,700	△4,000	△3.9	97,820
	営業利益	4,400	4,600	+200	+4.5	3,892
ライフスタイル領域	売上高	110,900	104,500	△6,400	△5.8	104,248
	営業利益	8,600	6,500	△2,100	△24.4	7,501
ステーションナリー事業	売上高	90,700	83,500	△7,200	△7.9	83,899
	営業利益	8,000	6,000	△2,000	△25.0	6,802
インテリアリテール事業	売上高	20,200	21,000	+800	+4.0	20,348
	営業利益	600	500	△100	△16.7	698
その他	売上高	700	400	△300	△42.9	438
	営業利益	△500	△500	—	—	△370
調整額	売上高	△28,400	△28,400	—	—	△28,226
	営業利益	△12,200	△11,800	+400	—	△9,651
合計	売上高	355,000	338,000	△17,000	△4.8	328,753
	営業利益	24,500	21,500	△3,000	△12.2	23,830

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,533	84,006
受取手形、売掛金及び契約資産	68,551	58,761
有価証券	30,086	30,109
商品及び製品	31,458	30,213
仕掛品	2,177	3,235
原材料及び貯蔵品	6,082	6,047
その他	6,358	4,770
貸倒引当金	△91	△19
流動資産合計	230,157	217,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,360	21,420
土地	28,305	27,426
その他（純額）	11,875	13,135
有形固定資産合計	61,542	61,982
無形固定資産		
のれん	5,416	5,161
その他	11,197	11,450
無形固定資産合計	16,614	16,612
投資その他の資産		
投資有価証券	40,112	37,669
退職給付に係る資産	4,559	4,820
その他	5,779	6,266
貸倒引当金	△354	△384
投資その他の資産合計	50,098	48,371
固定資産合計	128,254	126,966
資産合計	358,412	344,091



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,157	38,966
短期借入金	4,238	4,499
1年内返済予定の長期借入金	5,000	146
未払法人税等	6,548	3,861
賞与引当金	979	3,110
その他	19,357	16,271
流動負債合計	91,281	66,855
固定負債		
長期借入金	—	120
退職給付に係る負債	83	232
その他	13,620	13,654
固定負債合計	13,704	14,006
負債合計	104,985	80,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,847	15,847
資本剰余金	18,136	18,160
利益剰余金	210,677	220,589
自己株式	△12,206	△13,818
株主資本合計	232,455	240,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,912	15,183
繰延ヘッジ損益	△22	△94
為替換算調整勘定	2,905	3,551
退職給付に係る調整累計額	590	495
その他の包括利益累計額合計	19,386	19,135
非支配株主持分	1,585	3,314
純資産合計	253,426	263,229
負債純資産合計	358,412	344,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	248,813	251,549
売上原価	152,075	151,810
売上総利益	96,737	99,739
販売費及び一般管理費	77,059	82,228
営業利益	19,677	17,510
営業外収益		
受取利息	106	206
受取配当金	404	454
不動産賃貸料	629	593
持分法による投資利益	173	257
為替差益	830	270
その他	293	413
営業外収益合計	2,439	2,195
営業外費用		
支払利息	150	165
不動産賃貸費用	146	139
その他	152	203
営業外費用合計	449	509
経常利益	21,667	19,197
特別利益		
固定資産売却益	77	4,867
投資有価証券売却益	283	225
関係会社事業損失引当金戻入額	2	0
特別利益合計	363	5,093
特別損失		
投資有価証券評価損	14	52
貸倒引当金繰入額	29	17
システム障害対応費用	60	—
特別損失合計	104	69
税金等調整前四半期純利益	21,926	24,221
法人税等	6,860	7,684
四半期純利益	15,066	16,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	191	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,874	16,374

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	15,066	16,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,576	△744
繰延ヘッジ損益	185	△72
為替換算調整勘定	2,376	739
退職給付に係る調整額	△56	△94
持分法適用会社に対する持分相当額	7	5
その他の包括利益合計	6,089	△166
四半期包括利益	21,155	16,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,811	16,124
非支配株主に係る四半期包括利益	343	244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	21,926	24,221
減価償却費	5,535	5,850
のれん償却額	441	531
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,063	2,091
退職給付に係る資産負債の増減額	△185	△364
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
受取利息及び受取配当金	△511	△660
支払利息	150	165
持分法による投資損益 (△は益)	△173	△257
固定資産売却損益 (△は益)	△81	△4,870
固定資産除却損	28	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△299	△231
投資有価証券評価損益 (△は益)	14	52
システム障害対応費用	60	—
売上債権の増減額 (△は増加)	5,672	10,921
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,732	1,444
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,912	△16,774
その他	△858	△2,731
小計	29,572	19,352
利息及び配当金の受取額	521	731
利息の支払額	△148	△171
法人税等の支払額	△2,129	△10,348
システム障害対応費用の支払額	△59	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,757	9,564
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△135	246
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△40	70
有形固定資産の取得による支出	△3,453	△2,978
有形固定資産の売却による収入	148	5,584
無形固定資産の取得による支出	△1,171	△2,062
無形固定資産の売却による収入	2	—
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,044	891
非連結子会社株式の取得による支出	△686	—
長期貸付金の回収による収入	3	—
長期貸付けによる支出	—	△240
事業譲受による支出	—	△300
その他	△92	△422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,383	786

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25	△195
リース債務の返済による支出	△1,134	△1,090
長期借入金の返済による支出	△138	△5,158
自己株式の取得による支出	△721	△1,648
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△1,084	1,685
配当金の支払額	△7,095	△8,215
非支配株主への配当金の支払額	△22	△49
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△509	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,732	△14,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	692	360
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,332	△3,960
現金及び現金同等物の期首残高	98,351	115,161
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,683	113,850

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用の算定については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算している。

(セグメント情報等の注記)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	ワークスタイル領域			ライフスタイル領域						
	ファニチャー事業	ビジネス サプライ 流通事業	計	ステーショ ナリー事業	インテリア リテール 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	115,937	68,366	184,303	49,413	14,935	64,349	160	248,813	—	248,813
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,527	5,076	6,603	14,554	30	14,585	146	21,335	△21,335	—
計	117,464	73,442	190,906	63,968	14,966	78,934	306	270,148	△21,335	248,813
セグメント利益又は損失 (△)	17,872	2,900	20,772	5,322	504	5,827	△193	26,406	△6,728	19,677

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないアンテナショップ等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,728百万円には、セグメント間取引消去及び全社費用が含まれている。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2022年7月21日に行われたHNI Hong Kong Limited(現社名Kokuyo Hong Kong Limited)との企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていたが、第2四半期連結会計期間に確定している。これにより「ファニチャー事業」におけるのれんの金額が減少している。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	ワークスタイル領域			ライフスタイル領域						
	ファニチャー事業	ビジネス サプライ 流通事業	計	ステーショ ナリー事業	インテリア リテール 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	116,991	70,124	187,116	48,725	15,566	64,291	141	251,549	—	251,549
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,510	4,489	5,999	14,900	45	14,945	163	21,108	△21,108	—
計	118,502	74,614	193,116	63,625	15,611	79,236	304	272,657	△21,108	251,549
セグメント利益又は損失 (△)	16,918	3,470	20,389	5,102	397	5,499	△373	25,515	△8,005	17,510

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないアンテナショップ等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,005百万円には、セグメント間取引消去及び全社費用が含まれている。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I. 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	ワークスタイル領域			ライフスタイル領域			その他 (注2)	合計
	ファニチャー事業	ビジネス サプライ 流通事業	計	ステーショ ナリー事業	インテリア リテール 事業	計		
主たる地域別								
日本	103,760	68,366	172,127	26,343	14,933	41,277	92	213,496
海外	12,176	—	12,176	23,070	1	23,071	—	35,248
顧客との契約から生じる収益	115,937	68,366	184,303	49,413	14,935	64,349	92	248,745
その他の収益	—	—	—	—	—	—	68	68
外部顧客への売上高	115,937	68,366	184,303	49,413	14,935	64,349	160	248,813

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として分類している。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないアンテナショップ等を含んでいる。

II. 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	ワークスタイル領域			ライフスタイル領域			その他 (注2)	合計
	ファニチャー事業	ビジネス サプライ 流通事業	計	ステーショ ナリー事業	インテリア リテール 事業	計		
主たる地域別								
日本	107,543	70,124	177,668	26,611	15,563	42,174	67	219,911
海外	9,448	—	9,448	22,113	2	22,116	18	31,582
顧客との契約から生じる収益	116,991	70,124	187,116	48,725	15,566	64,291	85	251,493
その他の収益	—	—	—	—	—	—	55	55
外部顧客への売上高	116,991	70,124	187,116	48,725	15,566	64,291	141	251,549

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として分類している。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないアンテナショップ等を含んでいる。